



キャンプ利用状況 (10月1日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,344 名 *9/30 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/1	2	3	4	5	6	7
曜日	土	日	月	火	水	木	金
宿泊者	41	9	15	18	15	15	19
活動者	22	16	13	14	15	16	16

・被災地災害ボラセンも、震災から半年以降、復旧支援活動から生活復興支援活動にシフトしていることや、学生を中心とする夏季の活動が終了したこともあって、ボランティア活動への参加者は減少しています。キャンプでも同様の傾向にあります。宮古市、山田町、大槌町には継続して行うニーズがまだまだあります。キャンプでは、ブログなどを通して全国の志ある人に呼び掛けています。

■ 谷澤さん ごくろうさまでした !! ■

- ◆ キャンプが開設して間もない7月12日以来82日間滞在しながら、かわボラさんとして活動された谷澤俊之さん(東京都)が、2こととなりました。キャンプに冷静なリーダーとして、ほかいのある存在。谷澤さんは、キはなく、自らのボランティアをします。



大槌町/思い出の写真返却展で活動する谷澤さん

日をもってキャンプを卒業するにおいても、現場においても、常のかわボラさんにとって頼りがいのある仲間に対して奢ること「小さなやりがい」と口にして

- ◆ 1 日夜、かわボラさんの仲間の念パーティは、差入れなどもあ今後のご活躍をお祈りします。

企画で玄関前で行われた卒業記り盛り上がりしました。

* なお、谷澤さんの人となりについて、9月30日付けの朝日新聞社会面「宮古日記」に掲載されました。

■ 被災地支援 官民連携の連絡会議開かれる ■

- ◆ きょう30日、遠野市で岩手県主催の第2回東日本大震災津波NPO・ボランティア連絡会議が開催され、盛岡市社協も出席しました。国や県、県社協、JPF、遠野まごころネットなど8団体から現状報告が行われました。また、被災地の方への見守り支援や仮設住宅に入居されている方への冬季支援、活動資金の確保などについて、意見の交換がありました。



リポートかわいキャンプ

2011.10.3
第37号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (10月3日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,418 名 *10/2 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/3	4	5	6	7	8	9
曜日	月	火	水	木	金	土	日
宿泊者	14	17	16	16	23	76	65
活動者	12	15	14	17	17	37	91

・キャンプから大槌町へ向かうには、遠野に至る国道 340 号を左に分かれて県道大槌小国線に入り、土坂峠を越えて山道を下り、一路東の方向へ進みます。キャンプから約 48km、約 1 時間を要します。まもなく、峠一帯は全山紅葉の季節となります。

■ かわボラリーダーの勲章！ 缶バッチの寄贈 ■

- ◆ キャンプの開設以来、長期にわたって支援活動が続けられている鮎川洋さん(大阪府)から、このほどかわいキャンプのシンボルマークを使用した 2 種類の缶バッチが寄贈されました。ひとつは、岩手県奥州市出身の漫画家吉田戦車さんが考案し関根信一さんがデザインしたもの、もうひとつは、盛岡広域 8 市町村が公募により制定したシンボルマークとキャッチコピーを組み合わせたもので、いずれも直径 57 ミリの立派な缶バッチです。
- ◆ このバッチは、キャンプから派遣する各チームのリーダーを務めていただいたり、キャンプ自体の運営などに携わるなど、かわボラさんの活動に当たって貢献した方々を称えようとするために作製されたものです。キャンプでは、毎日かわボラさんの中から各チームのリーダーをお願いしております。ご寄贈の趣旨に沿って授与することとします。



■ かわボラさんに癒しのタベ ■

- ◆ 2 日の晩に、北海道札幌市などに在住のアンサンブルグループ「奏楽(そら)」さんが、宮古市でのボランティア演奏活動の後、キャンプに立ち寄りかわボラさんのためにコンサートを開催していただきました。「世界に一つだけの花」や「アメージング・グレース」などおなじみの曲のほか、アンコールでは「故郷(ふるさと)」を全員で合唱し、それぞれの故郷に思いを馳せることとなりました。





キャンプ利用状況 (10月5日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,427 名 *10/4 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/5	6	7	8	9	10	11
曜日	水	木	金	土	日	月	火
宿泊者	16	17	25	78	65	15	15
活動者	15	17	18	41	94	44	15

・ 体育の日周辺の3連休を利用して大勢のボランティアさんがキャンプに宿泊し、被災地で活動します。岩手漫画家応援ツアーさん(18名)、東京高校生平和ゼミナールさん(19名)、sing for tohokuさん(21名)などの団体が入ることとなったからです。スタッフとしても、賑やかなキャンプを楽しみにしています。

あなたのボランティアを
みんなのボランティアに。

上川井



キャンプ利用状況 (10月9日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,558 名 *10/8 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/9	10	11	12	13	14	15
曜日	日	月	火	水	木	金	土
宿泊者	70	20	19	17	17	16	15
活動者	99	45	25	19	18	17	17

・きょう活動されるボランティアさんは99名、宿泊される方は70名と、キャンプは久しぶりに活気を呈します。個人、団体を問わず、ボランティアさんには、すべて各復興支援センター等とのマッチングのもとに活動していただくこととなります。

■ 岩手漫画家応援ツアー、東京高校生平和ゼミナールの皆さん ■ ようこそ かわいキャンプへ !!

- ◆ きょう8日午後7時20分頃、岩手漫画家応援ツアー18名と、東京高校生平和ゼミナール17名の皆さんと一緒にキャンプに入りました。さっそく、ミーティングルームで合同のオリエンテーションを行いました。キャンプの説明と併せてキャンプのシンボルマークの由来についてもお話ししました。
- ◆ キャンプのシンボルマーク「ヨミガエル」くんを考案し、デザインされた吉田戦車さん(岩手県奥州市出身)、関根信一さんをはじめする岩手漫画家応援ツアーさん一行は、きょうは大槌町の子供の図書館づくりの支援に参加します。メンバーは、現在漫画界で活躍中の方々ばかりで、今回の活動はSAVE IWATEさん(代表 寺井良夫さん)が仲介されたものです。昨夜は、他のボランティアさんと食事をしながら、大いに盛り上がりました。
- ◆ 東京の高校の生徒さんで組織する東京高校生平和ゼミナールさんは、きょう大槌町で展開する「源水川イトヨ再生キャンペーン」の河川内・河川敷の整備に、かわボラリーダーさんと一緒に活動します。



かわボラさんと盛り上がる漫画家応援ツアーの皆さん



キャンプ利用状況 (10月10日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,628 名 *10/9 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/10	11	12	13	14	15	16
曜日	月	火	水	木	金	土	日
宿泊者	20	21	18	18	18	17	14
活動者	45	26	20	19	18	19	16

98名のボランティアさん 行ってらっしゃい!!

- ◆ きのうの朝のオリエンテーションは、久しぶりに圧巻でした。日帰り活動の11名を含め、98名のかわボウさんがキャンプ前広場に勢ぞろいしました。宮古市では近内仮設住宅のサロン活動、鍬ヶ崎地区の泥出し、日の出・中里仮設住宅のサロンコンサート、山田町では境田地区の瓦礫撤去・泥出し、大槌町では写真返却展、吉里吉里地区の子供図書館づくりへの支援、イトヨ・鮭プロジェクトに参加しました。午前8時20分、チームごとに現地に向けて一斉に出発しました。



8:00 キャンプ前広場でのオリエンテーション

「100キロ歩いてまた海を見よう！」キャンプに立ち寄る

- ◆ きのう9日午後3時頃、「100キロ歩いてまた海を見よう！」の一行110名(子供61名、スタッフ49人)が道中の途中キャンプに立ち寄りしました。同実行委員会(代表 伊藤 純さん)が、盛岡の子供たちから被災地へ元気を届けようと企画したもので、今年は特別な思いをもった参加となりました。盛岡から宮古・太平洋までの100キロを2泊3日かけて歩き通すもので、2日目の9日は宮古市区界から約40キロ歩いて宮古市川井地区の中心部までやってきました。

- ◆ きのうの夜は、地元泊まり、きょう10よいよゴールの浄土す。キャンプのヨミの子供たちにバンザ



の横沢冷泉静峰苑に日午後2時頃に、いヶ浜に到着の予定でガエルくんから参加イコールを贈ります。



キャンプグラウンドで休憩する一行





キャンプ利用状況 (10月11日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,648 名 *10/10 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/11	12	13	14	15	16	17
曜日	火	水	木	土	日	月	火
宿泊者	21	18	18	18	17	14	14
活動者	26	20	19	18	19	16	16

・3.11 からきょうで7カ月を迎えました。11日現在で、県内で亡くなられた方は4,664名、いまだ行方が不明の方は1,584人に上っています。県内で最後に残っておりました宮古市の市営住宅避難所も解消され、被災された方々は仮設住宅などで生活再建を目指す段階へと移ってきております。ボランティアの活動も、被災された方々が孤立しないようなケアに向けた活動が大事になってきます。

♪ sing for tohoku ♪ 宮古市仮設住宅で復興支援コンサート

- ◆ 9日と10日の2日間にわたって、かわボラさん田澤隆さん(弘前市)がステージマネージャーを務める「sing for tohoku」のメンバー21名が、宮古市の仮設住宅でミニコンサートを開催しました。今回のメンバーは、今回被災地復興支援のために編成された合唱団で、広く全国から選抜された社会人などの方々が構成されています。
- ◆ 9日は日の出と中里、10日は高浜と鯉ヶ崎で開かれ、住民の方々にとって馴染みの曲やパフォーマンスも披露され、癒しの音楽会となりました。演奏終了後は、お住まいの方々と交流するなど楽しいひとときとなりました。



鯉ヶ崎仮設住宅では屋外で



高浜仮設住宅集会所で



終了後の交流会 (高浜)

レポートかわいキャンプ

2011.10.13
第42号
盛岡市災害
ボランティアセンター



かわいキャンプ100日を迎える



宿泊利用者さん 3,712 名 に上る 岩手被災地支援ありがとうございます

- ◆ 7月6日、4名のボランティアさんの活動でスタートしたかわいキャンプも、きょう13日でちょうど100日目を迎えました。この間、宿泊利用されたボランティアさんは延べ3,712名(13日予定分を含みます。)に上っています。そのうち、男性が2,644名、女性が1,068名となっております。1日平均では37.1名の方がキャンプを宿泊利用されたこととなります。
- ◆ ボランティアさんの派遣先別人数の割合では、宮古市が20%、山田町が38%、大槌町が36%、その他6%となっております。瓦礫撤去や泥出し、河川敷整備など屋外での作業が多いところの割合が高くなっています。
- ◆ 国内は北海道から沖縄県まで全国各地から駆けつけていただいております。また、中国、フィリピン、アメリカ、オランダ、ドイツなど遠く海外からも訪れて活動に参加していただいております。



キャンプ開所式



朝のオリエンテーション



瓦礫撤去活動



キャンプ食堂



河原清掃活動



仮設住宅サロン活動



写真返却展会場



キャンプ利用状況 (10月15日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,765 名 *10/15 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/15	16	17	18	19	20	21
曜日	土	日	月	火	水	木	金
宿泊者	33	22	24	21	21	19	19
活動者	31	25	26	25	21	19	20

宮古でベンチの組み立てボランティア

- ◆ 10日から連日、かわボラさんは宮古市生活復興支援センターからの要請で、宮古市総合福祉センター前で、90脚のベンチの組み立て作業を行っています。活動内容としては、工具などを使って資材を組み立て、完成したベンチは軽トラックで指定の仮設住宅まで運び込むものです。
- ◆ このベンチは、パラソルとセットで配置され、仮設住宅にお住まいの方々が、井戸端会議のように三々五々集まっておしゃべりをする場所としての利用が期待されます。



組み立て作業



完 成



仮設住宅に設置

平成 23 年度盛岡市総合防災訓練に参加

- ◆ 16日午前8時から、大新小学校、西部公民館周辺において約2,500人が参加する盛岡市総合防災訓練がありました。盛岡市社協は「災害ボランティア受入窓口開設訓練」と「災害時要援護者避難輸送訓練」に参加しました。
- ◆ ボランティア受入窓口開設訓練では、今回は盛岡市西部公民館会場において、訓練の参加者、見学者の方々へボランティアの受付やボランティア活動保険の説明、キャンプPRチラシの配布を行いました。災害時要援護者輸送訓練では、盛岡市社会福祉事業団とともに、リフト付きワゴン車により身体に障がいのある人を収容避難場所（西部公民館）から特養ホーム（青山和敬荘）に搬送しました。
- ◆ また、これまでボランティアバスに参加されたの方々などの中から10名をお願いし、避難所生活体験訓練の支援としてご活躍いただきました。



キャンプ利用状況 (10月19日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,832 名 *10/18 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/19	20	21	22	23	24	25
曜日	水	木	金	土	日	月	火
宿泊者	25	25	23	50	16	11	13
活動者	25	26	23	15	54	14	12

宮古市藤原ふれあいサロン

- ◆ 盛岡市社会福祉協議会では、9月7日から毎週1回、宮古市藤原三丁目仮設住宅談話室で「ふれあいサロン」を開催しています。このサロンは、宮古市生活復興支援センターと連携して毎週水曜日の午前10時から午後2時まで、盛岡市の民生委員さんと、盛岡市社協の地域づくり推進員2名が仮設住宅まで出かけてサロン活動の世話人を務めているものです。お茶を飲み、お菓子をつまみながらのお話し合いが中心で、地元からは地域支援スタッフ（談話室管理人）さんのご協力をいただいております。



(先週 9/12 の藤原ふれあいサロン)

盛岡市議会議長さん キャンプの激励と視察に訪問

- ◆ きょう 18 日、盛岡市議会村田芳三議長さんがキャンプの激励と視察に訪れました。10 月市議会のお忙しい合間を縫っての訪問で、食堂、宿泊室、簡易シャワー室等ボランティアさんの滞在環境や、ボランティアさんの募集方法等について視察をいただきました。盛岡市からは、復興推進部志賀次長さん、城守主査さんが見えになりました。



前列右から 2 番目が村田議長さん



キャンプ利用状況 (10月22日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,904 名 *10/21 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/22	23	24	25	26	27	28
曜日	土	日	月	火	水	木	金
宿泊者	51	17	12	14	14	11	9
活動者	16	57	15	13	17	18	14

宮古市仮設住宅サロンボランティア活動始まる ～ 民生委員さんもサロンボランティアとして ～

- ◆ 盛岡市社会福祉協議会では、盛岡市内の民生委員さん、ボランティアさんの協力を得て、10月下旬から宮古市の仮設住宅の集会所・談話室でサロンボランティア活動を行うこととしました。当面、民生委員さん69名とボランティアさん6名の方々が、10月26日から11月30日までの間に11日間、延べ100名を超える大きな支援活動となります。この活動は、宮古市生活復興支援センターの割り振りのもとに、1日5カ所程度の集会所・談話室に2名ずつのボランティアさんを派遣する予定です。
- ◆ 今回のサロン活動では、仮設住宅にお住まいの方々の交流が促進されるよう、お話し相手やお茶出し、イベントの受入れ支援のほか、宮古市広報・チラシ等の各戸配布などを行うものです。



キャンプの夕暮れと星空

- ◆ 山あいのキャンプは日も早く落ちます。夕暮れ時にときおり見せる夕焼けは、一層美しさが引き立ちます。川井一帯が夜の帳(とばり)に包まれる頃、秋の満点の星空がキャンプいっぱいに広がります。明日もシャキッとした朝を迎えることができそうです。



キャンプの夕焼け



キャンプの秋の星空



キャンプ利用状況 (10月24日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 3,973 名 *10/23 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/24	25	26	27	28	29	30
曜日	月	火	水	木	金	土	日
宿泊者	13	15	14	11	9	11	7
活動者	15	14	18	18	14	13	10

■ フラウドジャパンさん企業支援で活動 ■

- ◆ 22 日午後 7 時 30 分頃、プラウドジャパン (PROUD JAPAN) さん一行 35 名がキャンブに入りました。プラウドジャパンさんは、被災者のためにできることを自分たちで考え、行動するというコンセプトの下に集まった有志の団体で、今回参加者の 7 割は社会人、3 割は大学生等となっています。今回 2 回目として週末を利用して 1 泊 3 日の日程でキャンブを利用いただきました。
- ◆ 22 日は宮古市で瓦礫撤去・泥出し活動を行い、翌 23 日は今後も継続的支援を行う被災酒造会社 (宮古市鉾ヶ崎) の経営者の方からお話を伺うというものでした。
- ◆ この酒造会社は、再興に向けて被災地応援ファンドを募集しています。被災企業の復活が地域経済を元気にし、町に住む人の希望になってくれるとの思いから、ツアーに参加の方々はこのファンドへ出資するということです。



8 月の陸前高田市支援活動に参加された方々

キャンプの卒業生さんなどから

■ かわボラさんへ飲・食料品の支援 ■

- ◆ かわいキャンブの卒業生や入学生、留学生、休学中の方々などから、かわボラさんの食生活を心配して各種の飲・食料品が毎日のように届けられています。また、地元の方をはじめ、盛岡市民の方からも食材の差入れがあります。これらは、食堂の中央テーブルに並べてかわボラさんに提供しています。



いただいた都度かわいキャンブのブログで紹介しておりますが、記事の関係で全部載せることができない場合もあります。改めて、そのうちのほんの一部を紹介します。かわボラさんへのご支援に感謝します。



第50回 盛岡市社会福祉大会

□ 山田町 大沢小学校児童「大沢虎舞」躍動！ □

- ◆ きょう25日、岩手県民会館大ホールで開かれた第50回盛岡市社会福祉大会（主催 盛岡市社会福祉協議会ほか）のオープニングアトラクションにおいて、山田町立大沢小学校の5・6年生全員33名が、同町大沢地区に古くから伝わる郷土芸能「大沢虎舞」を披露されました。

この虎舞は、近松門左衛門の浄瑠璃「国姓爺合戦」の一節にある大虎退治に由来するといわれます。掛け声や太鼓、てんぴら鉦のお囃子も賑やかにステージいっぱいに元気に舞う子供たちに、参加された約1,500名の市民の方々からは大きな声援が送られました。また、隈取りも鮮やかな物語の主人公が大虎を退治する場面で、口上とともに大見得を切る演技には会場全体から一斉に拍手が沸き起こりました。

- ◆ 今回の公演は、被災地山田町の子供たちから元気を発信してもらおうと、大会実行委員会が招いたもので、学校さんのご配慮とご協力をいただき実現したものです。この日は、大久保裕明校長先生ほかご指導の先生方が来られたほか、ご家族の方々も応援で見えられました。



- ◆ 演技終了後には、子供たち全員から「今年は震災のため運動会ができませんでした。今回、発表の機会をつくってもらってうれしいです。盛岡や全国の方々からの支援や励ましに感謝しています。僕たちの虎舞を見ていただいてありがとうございます」とお礼の言葉がありました。盛岡の人たちは、大沢小学校の子供たちから大きな感動と元気をいただきました。



リポートかわいキャンプ

2011.10.28
第48号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (10月28日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,058 名 *10/27 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/28	29	30	31	11/1	2	3
曜日	金	土	日	月	火	水	木
宿泊者	17	16	12	10	8	12	24
活動者	24	20	15	13	9	17	18

利用者さん 4,000 名を超える

- ◆ 25日で宿泊の利用者さんは 4,000 名を超えました。開所以来 112 日目の達成です。全国各地から岩手の被災地支援ボランティア活動に参加され、また遠く海外からもそれぞれの思いをもって駆け付けていただいたボランティアさんの皆様に、心から感謝します。
- ◆ きょう 28 日ボランティアさんは、宮古市では西が丘と宮古第二中の仮設住宅での「集会所サロン」の運営、山田町では船越地区の「瓦礫撤去」と旧県立山田病院での「思い出写真展」の準備、大槌町では旧パチンコパーラー・ルート 45 での「思い出の写真返却展」の運営支援に出掛けております。
- ◆ 被災地では、被災された方々の生活の復興に向けて懸命な努力をされておりますが、復旧基盤が脆弱(ぜいじゃく)な中で、現地ではボランティアさんの支援を必要とする活動がまだまだあります。キャンプでは、全国各地のみならず、地元の岩手県内、盛岡市内のボランティアさんのご支援を強く願っています。

かわいキャンプ案内看板第 3 弾

- ◆ キャンプの場所が分かりにくい、をいただいておりますが、案内号の盛岡寄り 300 ㍍の地点に看されている交通標語の看板の下理解とご協力を得て設置したも
- ◆ スタッフの制作によるペンキ塗すが、必ずや効果を発揮するもの



通り過ぎてしまうなどのご意見看板第 3 弾として、国道 106 板を設置しました。すでに設置に、設置元の JA 共済さんのごです。
りの手づくり感あふれる看板でと期待しております。

リポートかわいキャンプ

2011.10.31
第49号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (10月31日現在)



○ 宿泊利用者数 延べ 4,119 名 *10/30 宿泊分までの累計

○ 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	10/31	11/1	2	3	4	5	6
曜日	月	火	水	木	金	土	日
宿泊者	14	12	17	28	26	21	15
活動者	16	13	25	22	36	26	17

■ 玉山・城内学童クラブからリンゴの激励メッセージ ■

- ◆ 盛岡市玉山区の城内学童クラブ（所長 熊原寛さん）の子供たちから28日、同学童クラブの「わんぱく体験講座」収穫体験で収穫したリンゴをかわボラさん（かわいキャンプのボランティアさんのこと）に送っていただきました。
- ◆ 子供たちは、リンゴが色付く前から「絆」、「ありがとう」などの文字入れや、動物の絵入れの準備を行ってきました。この日、赤く実ったジョナゴールド 30 個に、かわボラさんへの励ましのメッセージを添えて箱詰めを行い、所長さんに託したものです。
- ◆ 被災地の支援活動に頑張るかわボラさんを激励し元気を届けることは、かわボラさんのエネルギー源となります。リンゴは、29日の夕食時に振る舞われました。かわボラさんからは、食べるのがもったいないとのことでした。



* 今回の城内学童クラブの活動は、10月30日付け岩手日報内陸部面で紹介されました。

岩手県・めんこいTV タイアップ特番

■ 「はちきゅん元気！プロジェクトSP～ボランティア～」 まもなく放映 ■

- ◆ よしもとクリエイティブ・エージェンシーが企画する「あなたの街に活躍中のアンダーエイジさんが、出し活動に参加されました。このらの岩手めんこいTV「はちきゅん元気！プロジェクトSP～ボランティア～」が、10月11日山田町の瓦礫撤去・泥様子が、11月5日(土)13:00から「拡大SP」で紹介されます。
- ◆ この番組では、2人のキャンプでの作業の様子やキャンプ卒業生Yさんそして、どういうわけかあの「ヨミ子」また、ふじポンさんが宮古市仮設住宅でサロンボランティアとして活躍します。お見逃しのないように！



ンシーが企画する「あなたの街に活躍中のアンダーエイジさんが、出し活動に参加されました。このらの岩手めんこいTV「はちきゅん元気！プロジェクトSP～ボランティア～」が、10月11日山田町の瓦礫撤去・泥様子が、11月5日(土)13:00から「拡大SP」で紹介されます。

受付、出発から始まり、現地でのんとの掛け合いが放映されます。ガエルくんTシャツも登場し、設住宅でサロンボランティアとして

盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000

盛岡市かわいキャンプ 0193-76-2005